

地域の学校を地域で支える学校支援ボランティア活動

学校名	大垣市立 北中学校	対象学年	全学年
支援活動内容	環境整備支援活動、職場体験学習支援		

地域の願い

北校区は、「北連合自治会」、「北地区社会福祉推進協議会」が中心となった地域組織が、活発な活動を展開してまとまりのある地域です。特に、市内唯一の1小学校・1中学校である学校と地域のつながりは深く、地域住民の学校に対する期待も大きくなっています。

地域住民にとっても学校は、地域のシンボルであり、地域の誇りでもあります。そんな大切な地域の学校を、地域で支え、守っていく中で、多くの地域住民が地域に一層愛着と誇りを持ち、活力ある地域になることを願っています。

コーディネーターの関わり方

北校区では、地域コーディネーターでもある社会教育推進員の助言の下、北小・中学校各1名の学校支援コーディネーターが活動しています。ほとんどの活動は、小学校と中学校が一体となり進めています。社会教育推進員は、学校評議員も兼ね、日頃から学校と連携を密にしています。学校支援ボランティアの募集チラシを全戸配布し、説明会を開催しました。その結果21名のボランティアの応募があり、学校の要望に従って、ボランティア活動を計画的に実施しています。



今後は、この活動を広げ、地域づくり活動につなげていくことが期待できます。

活動の工夫や効果

学校の要望を最優先して、活動を行っています。その結果次のような活動を行いました。

- 校地内の除草、清掃活動
- 遊具、体育設備の塗装
- 学校行事への支援
- 中学校職場体験学習の体験先の確保・依頼など。

北校区の特徴は、年度初めに学校側の要望を聞き、学校とともにボランティア活動の年間計画を作成し、計画的に活動していることです。

特筆すべきことは、学校支援コーディネーターを中心に中学校の職場体験学習の体験先を地域内で発掘、依頼、確保していることです。本年度は、43事業所、132人分の体験先を確保し依頼しました。学校は、地域内での体験を望んでおり、以前は教師が手分けしながら時間をかけて依頼先を確保していましたが、この活動により教師の負担が大きく軽減されました。その結果、教師にゆとりが生まれ、その時間を生徒への指導に充てることができるようになりました。

